

研 修 概 要

「消防団員セーフティ・ファーストエイド研修(紹介・体験版)」

消防団員セーフティ・ファーストエイド研修(Aコース。以下「S-FA研修」といいます。)は、災害現場等で負傷者の応急処置を行う際、消防団員が自身の安全を確保した上で、適切に対応するためのファーストエイド(外科的応急処置)と、災害現場等での悲惨な体験や恐怖を伴う体験により急性ストレス障害が発生した消防団員に適切に対応するためのPFA(心理的応急処置)の基礎知識と実技を学ぶ研修です。

今回、この研修会で消防団員がどのようなことを学ぶかを実感していただくため、消防団員セーフティ・ファーストエイド研修の内容をコンパクトにし、紹介・体験版として参加いただいた約100名の皆様に受講いただきました。



～地域の安心と安全を守る消防団員を守るために～

消防団員

セーフティ・ファーストエイド研修

消防団員等公務災害補償等全国研修会【紹介・体験版】

時 期：令和1年10月24日(木) 15:40～16:55

場 所：東海大学校友会館(霞が関ビル)

開催団体：消防団員等公務災害補償等共済基金

助成・後援 /  消防団員等公務災害補償等共済基金

協力 /  一般社団法人日本災害医学会  DMAT事務局  DPAT事務局

1 災害医療概論 (S-FA 研修指導員：小森健史氏)

実際のS-FA研修では、毎回冒頭で、受講者の緊張を緩和するとともに、意識を研修に集中させるため、S-FA研修指導員がインターネット等の公開情報を基に作成した地元消防団のPRスライドを上映しています。今回は、今年度開催したS-FA研修で使用したPRスライドの中からピックアップしたものを参考上映しました。

続いて、参加者に消防団員の公務災害防止の必要性と重要性を改めて認識していただくため、消防団員の公務災害の現況（公務による負傷者等の人数の推移や活動態様別公務災害発生状況など）を紹介しました。

その上で、この研修の目的と、次に掲げる他の2つの研修科目における主要研修項目とその内容について、スライドを用いて説明を行いました。

【主要研修項目】

- (1) 災害現場における応急手当
 - ア 状況評価
 - イ 手袋装着による感染防止
 - ウ 傷病者評価
 - エ エマージェンシーバンテージによる圧迫止血
 - オ 総合訓練
- (2) 災害時におけるメンタルヘルスケア
 - ア 人道支援
 - イ 災害時のメンタルヘルス
 - ウ 心理的応急処置 (PFA)



小森健史指導員による災害医療概論

2 災害時におけるメンタルヘルスケア (S-FA 研修指導員：河瀬譲氏)

消防団員については災害現場等での悲惨な体験や恐怖を伴う体験等により急性ストレス障害が発生した事例もあり、このような消防団員に適切に対応するためにはPFA（心理的応急処置）の基礎知識とその実技を習得することが必要です。

この科目では、災害後の被災者の心理的反応や、それを支援する側のストレスやその対策などについて学習するとともに、支援者が被災者と適切にコミュニケーションを取るための手法である「傾聴」について実技体験を行いました。



河鳶讓指導員によるPFA講義



傾聴の実技体験

3 災害時における応急手当(S-FA研修指導員：河鳶讓氏・小森健史氏、講師補助者：笛木徳之氏)

消防団員が災害現場で傷病者の搬送中に、搬送要員の消防団員1人が転倒して重傷を負ったという想定で、当初の公務(傷病者の搬送)を遂行しつつ、新たに負傷した消防団員への対応も併せて行うためのファーストエイド(外科的応急処置)について実技体験を行いました。5人の参加者の



血液曝露防止のための手袋装着



エマージェンシーバンテージによる圧迫止血

方にも協力していただき、状況評価(安全確認)、手袋装着による感染防止、傷病者評価、エマージェンシーバンテージによる圧迫止血、救急隊への申し送りなどの一連の動作について、良い例と悪い例のロールプレイを交えながら行いました。



総合演習

今後、御希望される開催日程にお応えできるように講師の充実も図っていきますので、ぜひお申込みください。